

高田議員（民主県政会）

令和元年 9 月 20 日

教育長 答 弁 実 録

（ 教 育 委 員 会 ）

（問）コミュニティ・スクールについて

現在の広島県におけるコミュニティ・スクール導入の進捗状況をどのように評価しているのか、また、この制度が持続的に発展していくために、どのように取り組んでいくのか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

県立学校への学校運営協議会制度いわゆるコミュニティ・スクールの導入は、昨年度までは0（ゼロ）パーセントでしたが、今年度、全ての学校に導入したことにより、100パーセントに達したところでございます。

また、現在は、委員の任命手続を終え、第1回の会議を開催するなど、学校運営のビジョンの共有を進めているところでございます。

なお、市町立学校においては、7市町30校で導入しているところでございます。

市町教育委員会に対しましては、県立学校に導入するメリットについて教育長会議等で説明したところであり、今後も、様々な機会を通じて、県の取組内容等の情報発信に努めてまいります。

今後、この制度を持続的に発展させていくためには、「辛口の友人、最大の応援団」である学校運営協議会の委員が、目標やビジョンの計画段階から参画し、育てたい子供像や目指す学校像等を共有して、当事者意識を持って議論するとともに、保護者や地域等との連携や協働の仕組みを構築していくことが大切であると考えております。

そのため、今年度、委員を対象に、これからの学校と地域の連携・協働の取組について研修会を実施したところであり、今後とも、こうした研修会を充実させ、学校運営協議会制度の発展に努めてまいりたいと考えております。